

衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会ニュース

平成 24.3.7 第 180 回国会第 3 号

3月7日(水)、第3回の委員会が開かれました。

1 沖縄及び北方問題に関する件

- ・川端国務大臣(沖縄及び北方対策担当大臣)、玄葉外務大臣、山口外務副大臣、吉田国土交通副大臣、園田内閣府大臣政務官、仲野農林水産大臣政務官、下条防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

瑞慶覧 長 敏君(民主)

- ・沖縄の優位性を活かすべく、現在、那覇空港を拠点とした国際空港物流ハブ事業が展開されており、大きな成果を挙げているが、沖縄の地理的優位性を活かした国の戦略的な観点をどのように位置付けるか、川端国務大臣の見解を伺いたい。
- ・嘉手納基地以南における普天間基地を除いた5施設1,000ヘクタール以上の土地が返還される予定だが、この5施設の返還時期の目途を伺いたい。

浅野 貴 博君(大地)

- ・3月4日のロシア大統領選で当選したプーチン氏は、同日1日、北方領土問題交渉について柔道になぞらえ、お互い妥協して歩み寄らなければいけないとして「引き分け」という日本語を使い、「始め」の声をかけると発言している。今後の日ロ関係の発展としての最後のチャンスだと思われるが、玄葉大臣の認識を伺いたい。
- ・今後の北方領土問題の交渉について、我が国は2001年の森総理とプーチン大統領により署名されたイルクーツク声明を基本とした交渉を行う方針であるか、玄葉大臣の見解を伺いたい。

石田 三 示君(きづな)

- ・沖縄県における農業分野について、どのような基本方針及び行動計画を予定しているのか、川端国務大臣の見解を伺いたい。
- ・TPPに加盟すれば沖縄では1,500億円の損失があると考えられている一方、県産品の販売を拡大して沖縄の自給率を28%から35%に拡大しようとする動きがあるが、TPP参加に関し、沖縄の生産者が安心して納得できる説明をして欲しい。

宮 腰 光 寛君(自民)

- ・沖縄振興特別措置法一部改正法案に交通の確保について調査・検討することを規定するのみならず、鉄軌道を整備する旨を明記する必要があるのではないか。
- ・跡地法一部改正法案(閣法第25号)に基本理念として跡地利用は国による主体的な推進により図られるべきものであることが欠落し、「国の責任」という言葉を使用していない理由を伺いたい。
- ・政府は、再び就任するプーチン大統領との北方領土返還交渉をどのように構築しようとしているのか。

伊 東 良 孝君(自民)

- ・北方領土問題に関し、外務省幹部が「2島先行返還論」を排除せず、柔軟に交渉に臨む意向を示したとの報道がなされたが、外務省が検討を行っている領土交渉の方針について、玄葉外務大臣の見解を伺いたい。
- ・平成24年度の沖縄関係予算が大幅に増額されているのに対し、北方対策本部予算が前年度比88.2%に減額されておりバランスを欠いていると思われるが、この予算額について川端国務大臣の見解を伺いたい。
- ・韓国では竹島の天気予報が配信されていることに対し、日本政府として抗議をしたことがあるか、また、尖閣諸島、竹島及び北方4島が日本の領土であることを国民に意識してもらうために、我が国でもこれらの天気予報を行うことについて政府の所見を伺いたい。

遠 山 清 彦君(公明)

- ・沖縄振興一括交付金の対象事業等を定める交付要綱策定の進捗状況と、沖縄県及び各市町村への発出時期について伺いたい。
- ・1970年代に建設された沖縄県内の校舎のコンクリートは、塩分を含んだ海砂が使用されているため、現在、亀裂やはく離が発生し危険な状況である。全県的な実態調査をするべきではないか。

- ・グアムへ移転する在沖縄海兵隊員の規模及びその規模がロードマップ合意により縮小されることに伴う移転経費に関する日米での交渉内容について伺いたい。

赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・普天間基地は返還が合意されているものの、移設条件があるため返還が遅れており、政府は危険性を除去するため同飛行場の大規模補修を行うと発表しているが、基地を閉鎖するのが当然ではないのか。
- ・普天間基地代替施設の建設が日本側の事情で極めて困難なため、我が国が従来支払ったことのない普天間基地の大規模補修費を負担せよと米国が言うのは不当だと考えるが、玄葉大臣の見解を伺いたい。
- ・グアムに移転するのは、ロードマップでは沖縄海兵隊司令部が中心であると米国は説明していたところ、2月8日の共同報道発表ではそれが変更されているが、どのような理由か。

照 屋 寛 徳君（社民）

- ・沖縄振興一括交付金に関し、県がとりまとめる市町村実施事業について、国と県による具体的な調整が始まっているのか、また、今後どのような日程で進められるのか、川端国務大臣の認識を伺いたい。
- ・本年10月から普天間飛行場にオスプレイが配備されるのに先立ち、7月から一時的に本州に配備されるとの報道がなされたが、この事実関係及び予定を前倒して配備する目的について、玄葉外務大臣の見解を伺いたい。
- ・JALが操縦士の飛行訓練で使用していた下地島空港から撤退することに対し、沖縄県が民事調停の申立てを行う方針としている事案について、国はJALと県の間で立って調整する考えがあるか伺いたい。